

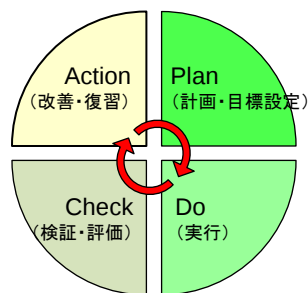
春 告 草

第 53 号 平成 29 年 3 月 6 日 進路指導部発行

1 年間を振り返り、次へ向けて踏み出そう！

学年末試験が終わりました。日頃の勉強の成果は発揮できましたか。明日からは一部で短縮授業も行われますが、修了式まで授業は続きます。考査後の期間は 3 学期が終わったと思うのではなく、「新学年をスタートさせる」という気持ちで過ごすことが大切です。

それぞれの学年末を迎えるこの時期に 1 年間を振り返り、次年度に向けての目標を設定しましょう。その為にも、9 日に行われる「基礎学力テスト」は現在の自分の立ち位置を客観的に捉える為に活用してください。詳細は、各学年から連絡をしますが、しっかりと準備、受験し、以後の Action に役立ててください。



PDCA サイクルは品質管理のための手法だが、学習活動においてもそのノウハウは応用できる

スタディサポート実施に向けて

STEP1 目標設定 スタディチャージに取り組もう（スタディサポート受験までに）

スタディサポート活用BOOKを利用して、生活スタイル、学習法を振り返る

あらためて進路目標を確認し、次へ向けての計画を立てる

これまでの復習を行う

STEP2 受験 「学力リサーチ」、「学習状況リサーチ」を受験する（3月9日）

学力リサーチ 国語、数学、英語の基礎学力テストを受験し、基礎・基本のヌケをチェックする

学習状況リサーチ 学習習慣や進路・生活についての考え方を調べる

STEP3 振り返り 「個人診断レポート」の診断結果を振り返る（新学期）

個人診断レポートには、学力・学習習慣の診断結果が示されている。次へ向けて、舵取りを誤らないためにも、アドバイスを参考にすること。各教科の弱点や課題が明らかになっているので何をすれば良いのかが分かるはずだ

STEP4 対策 学力・学習習慣を改善するために必要な対策を立てる（新学期）

個人診断レポートの弱点や成績に合わせたワークとドリルを利用し、学力向上に役立てる。レポートのアドバイスを如何に自分流にアレンジできるか、より自分にフィットしたやり方で実行するかをしっかりと考えることが大切だ。

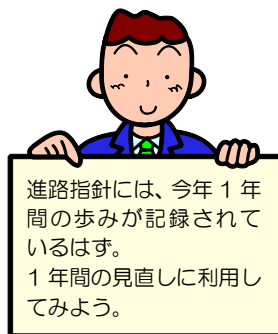
学習法情報についてのアドバイスを掲載した「スタディナビゲーター」も参考に！

進路指針を振り返ろう

昨年1学期に配付した進路指針には、大学入試の知識など進路情報が幅広く載せてある。卒業生の体験談もこれから受験を迎える5年生にとっては天の声だろう。

また巻末には、「学診テスト目標設定と振り返り」のページが設けてある。今年度行った模試成績を記入するページだが、未記入の分があったら忘れずに記入しておこう。そして結果を振り返り、各回の課題が改善されてきているのかを検証しよう。

次へ向けてしっかりと足場を固めておくためにも、進路指針を読み返して、1年間を振り返っておこう。



国公立大前期日程試験終わる

国公立大学前期日程試験が2月25日に行われた。東大、一橋、東工大等では、26日までの2日をかけて行われたが、1日で済んだ大学も多かった。前期日程の出願者数は約26万人。志願倍率は3.2倍で、昨年度とほぼ同じである。

前期日程で試験を行った国公立大学は163大学558学部。後期日程などを含めた学部系統別の志願倍率は、文系の「人文・社会」が5.0倍、理系では「理工」が4.4倍で、共に前年度比は0.1ポイント増。理系でも「医・歯」は5.2倍で前年度比0.2ポイント減となった。一部公立大が行う中期日程試験は3月8日以降、後期日程試験は12日以降に行われる。前期日程は3月10日まで、後期日程も24日までには合格発表が行われる。



理科各県の試験が行われた東京大学・本郷キャンパス「赤門」は大学関係者のみで受験生は正門からの入場となった

「科学のマドンナ」プロジェクト with Mind the Gap

サイエンスワークショップ @Google 女子高生の受講生を募集

東京理科大学では女子中高生の理系に対する意識を高め、理学の普及を目指して「科学のマドンナ」プロジェクトを以前より行っている。今回は「情報科学」をテーマに、数理工分野やプログラミング技術に興味をもつ女子高生を対象に「サイエンスワークショップ」を実施する。受講生を募集しているので、積極的に参加してみよう。

開催概要

日 時：平成29年3月22日(水)15時～17時30分(受付14時30分)…当日は午前授業の予定

場 所：グーグル日本法人(港区六本木 六本木ヒルズ森タワー)

対 象：全国の女子高校生70名程度

参加費：無料(交通費は自己負担)

申込み：<https://www.tus.ac.jp/madonna>

内 容：グーグルエンジニアによる講演会(井上みのり氏)、現役大学生とのトークセッション、プログラミングワークショップ 詳細はHPを参照のこと

※Mind the Gapとは？ 女性も活躍できるソフトウェアエンジニアの仕事の魅力を伝え、これから進路を決定される女子中高生のみなさんが情報科学を学ぶことで将来どのような可能性が生まれるのか、情報科学とはどのようなものなのかを楽しく知る機会を提供するための取り組みです。Google では、分野の未来のため、そして女子高生のみなさんの将来の選択肢を広げるために、世界中のオフィスでこの取り組みに力を入れています。<http://www.google.co.jp/events/mindthegap/> より引用)

筑波大でも模擬講義、1日体験教室の受講生を募集

筑波大学では下記の日程で「春の進学説明会・模擬講義」を東京キャンパス文京校舎で実施する。参加申し込みが必要となるので、希望者は事前に手続きを済ませるように。

日 時：平成29年3月28日～30日

場 所：筑波大学東京キャンパス文京校舎(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅下車徒歩3分)

申込み：<http://daigakuic.jp/tsukuba/>



また、応用理工学類では「応用理工スプリングスクール2017」を筑波大学本部(茨城県つくば市)で行う。大学の施設を利用しての講義や理科実験体験は進路探究における貴重な経験となるはず。少し遠いが出かけてみてはどうだろう。

日 時：平成29年4月4日

場 所：筑波大学第3エリアA棟3A402教室(アクセス つくばエクスプレス「つくば駅」+バス)

申込み：toko@bk.tsukuba.ac.jp

(名前、学年、学校名を明記の上、メールで申し込む 担当:応用理工学類 都甲 薫 助教)

均一的、凡庸でない学生を求む！

春告草・第52号の記事の中で、「東京大学推薦入試の狙いは、多様性に富んだ学生の獲得」という東大副総長のコメントを紹介した。東大と同時期に「特色入試」を取り入れた京都大学でも、同様の狙いがある。ある雑誌に京都大学理事・副学長北野正雄氏のインタビュー記事が掲載されていたので、これをもとに、京都大学、東京大学、さらには大学がどのような人材を期待しているのかを探ってみたい。

志のある学生を増やしたい

京都大学は東京大学と並ぶ、国内トップレベルの大学だ。日本人初のノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士を筆頭に、京都大学に関係の深いノーベル賞受賞者は多い。昔からの「自由な学風」も魅力の一つで、そんな京大に憧れて試験にチャレンジする学生は多い。しかし、近年入学してくる学生の様子が違ってきたという。自身、京大出身の北野氏は、こう答えている。

「京都大学に入りたい」「京都大学で挑戦したいことがある」など、志を抱いて入学してくる学生が多いという特徴が、他大学以上に本学にはあったと思います。私は地元京都の生まれで、ものづくりが大好きでしたから、京都大学工学部電子工学科を志望しました。私が学生時代を送った 1970 年代当時は、湯川秀樹先生に憧れて入学してきた学生がどれほどいたか分からないほどでした。

哲学好きの学生にとっては西田幾太郎だろうか。京大で18年間教授を務めた。哲学の道を歩き、当時に思いを馳せることもあるだろう。数学好きの学生にとっては、数理解析研究所がある。昭和38年創立で、国内における数理解析分野の研究において牽引役を担ってきた。フィールズ賞受賞の廣中平祐氏や確率論で知られる伊藤 清氏（ガウス賞など多数受賞）もこの研究所の教授、所長を務めた。現在、京大総長を務めている山極壽一氏は都立西高の卒業だが、霊長類研究では第一線の研究者であり、霊長類研究所で研究をしてみたいという理由で京大を目指す人もいることだろう。

憧れや目的を抱いて大学へ進学してくるというのは、素晴らしいことです。しかし時代が変わっていくにつれて、「偏差値的にハイレベルだから」という理由だけで本学に入学してきた学生が増えてくるようになりました。偏差値を物差しとして大学選びをしているからか、講義をしていると「均一な学生が増えた」と感じるようになったのです。

もちろん、抜きんでた個性や資質をもつ学生というのは常に一定数います。しかし、学生の均一化の方が目につくようになってきました。この状況は何とかして打ち破らなければならない、そうした問題意識への一つの解答が特色入試なのです。

高い資質をもった学生が常に一定数いて、何が問題なのか？とも思うが、一般入試の難易度をあげても、ハイレベルだが均一的な学生が集まるという問題は解決されないという。

大学は教育の場であるとともに、研究の場でもあります。学生は、研究室やゼミに入れば研究者の一員です。どれだけ優秀な学生であっても、均一的で凡庸であっては独創的な研究は望めません。まして、本学は世界トップレベルの研究拠点を目指す大学です。また、研究は常に教育にフィードバックされるものですから、教育の質にも影響が出てくるでしょう。ですから、志のある学生の確保が大学の未来を左右すると言っても、過言ではないのです。

大学を社会や世界に開く窓として位置づけ、有能な学生や若い研究者の能力を高め、それぞれの活躍の場へと送り出すことが京都大学の役割であるという。

志を掘り起こし 特色入試で迎え入れる

特色入試においては、①センター試験により基礎学力を担保し、②高校での学修における行動と成果(※表1参照)を判定のもと、③個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定が行われる。時間と手間をかけて、京大で学びたい「志」の度合いがじっくり測定される。「特色入試に向ける本気度」が伝わってくる。

「学びの設計書」(※)には、高校在学中に取り組んできた活動や、本学で何を学びたいか、そして将来就きたい仕事などについて書いていただきます。

(※) 学びの設計書については、春告草第39号「京都大学特色入試を調べる」で特色入試一期生の声を取り上げている。



特色入試ポスター
昨年度ポスターのキャッチコピーは
「意欲、買います。」だった。

高校と大学との間でミスマッチが起きないように確認を取るための書類が、学びの設計書なのだ。さらに、受験する段階で大学における学びや研究の中身が見えていない生徒に対しては、「学びコーディネーター事業」を行っている。

大学院生などを高校に派遣して行く「出前授業」、本学を訪れる高校生に提供する「オープン授業」というかたちで、大学で学ぶことや研究について広く発信する取り組みです。出前授業の実施先は地元の近畿圏だけではありません。希望する高校からご応募いただければ、北海道から沖縄まで可能な限り応じさせていただきます。学びコーディネータ事業で高校生の志を掘り起こし、特色入試で迎え入れるというサイクルです。

拡大する特色入試が京都大学を変える

特色入試初年度は、多様な高校から多くの女子の出願があり、入学者の多様化を図る上で、期待通りの選抜が行えたという。

一般入試での入学者2,817人に対して特色入試での入学者は81名だが、従来は存在しなかったタイプの学生が混じり、一般入試で入学してくる学生への波及効果を期待しているという。

従来は存在しなかったタイプの学生が混じり、互いに刺激を受けて切磋琢磨することは大きな意味があります。志のある学生が、ほかの学生も巻き込んでいって欲しいですね。

今後は、より多くの受験生が特色入試にチャレンジしていけるようにしていきます。例えば、一部の学部学科にあった、「科学オリンピック大会の出場」など、ハードルの高い出願要件を削除するといったことです。平成29年度入試では、農学部の全学科で、平成30年度からは薬学部薬学科、工学部建築学科、物理工学科でも順次導入します。

研究型総合大学である京都大学において、一般入試と特色入試で入学した多様な学生が切磋琢磨することによって、新たな考えが生み出され、分野を超えた異なる能力や発想の出会いが生まれる。山極京大総長は、そのような場を通じて野性的で賢い学生を育て、彼らが活躍できる世界に向けた窓を開け、学生たちの背中をそっと押して送り出すことが、私たち京都大学の教職員の共通の夢であり目標であると、京都大学特色入試の基本方針を説明している。（野性的というところがゴリラ研究の山極総長らしいですね。）

特色入試初年度に作ったポスターのキャッチコピーは、「意欲、買います。」でした。本学で学びたい意欲の有無が重要ですので、そこは受験生本人が京都大学でどのように学びたいのか考えていただきたいと思います。自分の人生ですから、自分でやりたいことを決めて、本学の扉を叩いてください。保護者の方に対しては、お子さんのチャレンジを温かく見守っていただければと思います。

特色入試に向けての傾向と対策はありません。それでも何か一つということでしたら、「何事にも興味をもつこと」と申し上げます。興味が湧けば問題意識が芽生え、さまざまな人との対話も生まれます。私が見ている範囲ですが、優秀な学生ほど積極的に人と対話しています。幼稚園児や小学生は、何事にも目を輝かせ興味を抱きます。その心を失わず、磨きをかけてください。対象は何でも結構です。興味をもつ、そこが出発点です。

2年目となる特色入試の合格発表が2月8日に行われた。後期日程で実施される法学部を除く9学部20学科・コースの合格者は全体で97名だった。法学部の募集枠20名を加えれば117名で、昨年の81名を大きく超える。大学全体の募集定員の4%であるが、志のある少数派が周りに与える刺激を大学は期待している。

来年度は一橋大でも全学部で推薦入試を実施する。入学定員955名に対し、推薦枠は50名である。その狙いは、「グローバル社会において独自性をもって活躍できる人材の育成を促進するため、一定の基礎力を備えつつ特定領域で高度な知的訓練を積み重ね、その才能を発揮してきた多様な背景を持つ学生に対し、多面的総合的に評価すること」としている。また東北大では今後5年間でAO入試募集枠を30%まで引き上げることも発表している。周りに刺激を与えることのできる尖った学生の入学をどの大学でも期待しているのだ。

※表1. 選抜方法と提出書類(例)

学部・学科	選抜方法	提出書類
文学部	書類審査 論文試験 論述試験 センター試験成績	調査書 学業活動報告書 学びの設計書
理学部	書類審査 能力測定 口頭試問 センター試験成績	調査書 学業活動報告書 学びの報告書
医学部 医学科	書類審査 小論文試験 面接試験	調査書 推薦書 学びの設計書 TOEFL-iBT または IELTS の成績 証明書原本 特色事項に関する資料
工学部 情報学科	書類審査 口頭試問 センター試験成績	調査書 推薦書 学びの設計書 顕著な活動実績の概要

一部の学部学科について選抜方法と提出書類をまとめた実施学部学科についても詳細はHPを参照のこと。
<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>